



第1953回 例会

2014-15年度RI会長: Gary C.K.Huang
第2640地区ガバナー: 辻 秀和
創立: 昭和49年5月15日
会長: 谷中 順次郎
幹事: 岡本 博
会報: 稗田 智則



VOL. 41 No. 18

2014年11月 5日 (水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10
きのくに信用金庫田辺支店3F
Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
例会: 毎週水曜日 12:30~

司会者 谷中 順次郎 会長

唱 歌

“君が代” “田辺東ロータリー讃歌”
野村 憲司君



ゲスト

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 辻 秀和様
地区副代表幹事 松田 洪毅様
ガバナー補佐 谷脇 良樹様

出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
45名	4名	8名	80.49%
10月8日 修正出席率 97.56%			

ヴィジター

田辺はまゆうロータリークラブ
山本 佳弘様

ニコニコ箱

(敬称略)

◇お世話になります。

田辺はまゆうRC 山本佳弘様

◇国際ロータリー 第2640地区 ガバナー公式訪問
ガバナー 辻 秀和様、地区副代表幹事 松田洪毅様
ガバナー補佐 谷脇良樹様をお迎えして

畑地 誠、本田 耕二、泉 房次郎、片井 貢、
木村 壽一、北村 圭司、前田 吉彦、丸山 博之、
森本 修至、那須 壽子、西谷 次彦、野村 憲司、
岡本 博、坂本 正人、谷中 順次郎、吉田 和枝、
早稲田 清司、吉本正美

◇昨日はJCとの懇親会に参加頂き有難うございました。
武田 静也

◇本人誕生日

- ・45才になりました。そろそろ、体も悪くなってきそうです。 石井 達
- ・誕生日 みんながメイワク ものわすれ。 小山 實

- ・11月27日木曜日 私、誕生日です。もしかして66才になるのかなあ〜!! 佐田 一三
- ・朔旦冬至 (さくたんとうじ)

今年は19年ぶりの吉祥日である朔旦冬至を迎える。
最も旧暦であるので新暦の11月1日とはならず、かなり遅れてクリスマスの頃となる。
桓武天皇も長岡京遷都の年、784年に朔旦冬至を祝った。11月1日は実に慶賀すべき誕生日となる。

感謝 上原 俊宏

◇お花頂きます。 橋本 隆

◇奥様誕生日

岩崎 泰人、渡口 真二

- ・いつも いつも、感謝しています。ありがとう。 竹村 英一

- ・しゃれた一言、言いたいです、何もありません。只々、いつまでも元気で!!おめでとう。愛してるぜ!! 山本 亘

◇結婚記念日

岡本 博、浦地 章

- ・いつも いつも、感謝。感謝。43回目。後 7回は頑張ります。 玉置 和男
- ・感謝しています。有難う。 谷中 順次郎

会長報告

■本日のプログラムは、公式訪問です。

国際ロータリー第2640地区ガバナー 辻 秀和様、
地区副代表幹事 松田 洪毅様、ガバナー補佐
谷脇 良樹様をお迎えしています。ガバナー 辻様
には、後ほどお話を宜しくお願い致します。

幹事報告

■例会日時変更

◎有田RC 11月20日(木)→ 11月20日(木)19:00~

場所: 橘家 (有田市宮原町新町)

<ロータリーデー 夜間例会:

有田2000RCとの合同例会>

◎有田2000RC

11月 5日(水)→ 11月2日・3日 <一泊例会>

12月17日(水)→ 12月20日(土)<クリスマス例会>

12月24日(水)→ 休会

■回覧

◎週報「粉河RC」

◎田辺市暴力追放協議会より

「田辺市暴力追放決起集会及び街頭啓発パレード御礼」

◎ガバナー事務所より

「バギオだより11月号」「御礼」「ガバナー月信」

「『ロータリーの友10月号』地区だより」

「2014-15年度 会長賞に関する変更事項について」

◎2013-2014年度 米山奨学生 権梅紅様より届いた「お礼状」

■連絡

◎ロータリーの友11月号が届いています。各自トレイに入れてください。

プログラム

ガバナー公式訪問

国際ロータリー 第2640地区

2014 - 2015年度

辻 秀和 ガバナー

谷脇良樹 ガバナー補佐

松田洪毅 地区副代表幹事



皆様 こんにちは。

本日は、2014 - 2015年度地区ガバナー公式訪問でございます。先立ちまして、谷中 順次郎会長様、岡本 博幹事様、谷脇 良樹ガバナー補佐、松田 洪毅地区副代表幹事もご同席の上、会長・幹事 懇談会をなごやかに、かつ有意義に終えました。

今回、田辺東RC様を、公式訪問させていただき、このように歓迎をしていただき、大変な名誉でございます。衷心より感謝申し上げます。

クラブ会長 谷中 順次郎様や会員の皆様には、地区運営に多大なるご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

田辺東RC様と申せば、1974年5月に、田辺RC様をスポンサークラブとして、創立されました。

地域社会への奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕にも又、親睦、R財団、米山記念奨学会など、バランスよく、素晴らしい活動を展開されておられます。当地区では、きらりと輝く存在であります。

本年度、谷中会長様は、RIテーマの『ロータリーに輝きを』と、さらに地区方針を共に、ご配慮いただきつつ、クラブ会長方針を：

＋新会員の増強 ＋会員相互の親睦 ＋魅力ある例会運営と定められて、しかも地域社会に根ざした奉仕活動をしっかりと、実践されておられます。

また、「地域の宝」世界遺産を次世代に引き継ぐための奉仕活動を推し進められる、強い意志を感じ取ることができました。

共鳴・共感することばかりで、素晴らしいロータリーの、

お仲間に出会えた喜びを感じました。

昨年度、創立40周年を、お迎えになりました。これを機に、さらに斬新的で独創性豊かな活動を、ご継続されますように、ご期待申し上げます。

さて、10月25日、26日の本年度地区大会は、従来にない手づくりの地区大会を開催いたしました。

大会二日目後半は、地元住民も参加頂き、ロータリーモメントの発表や、楽しいロータリーデーを同時に開催いたしました。

当地区大会に、二日間を通じてご参加いただきました、東京からのご来賓で、一般社団法人ロータリーの友事務所 所長・理事の渡辺誠二様（東京みなとRC）は、次のようなコメントを残されました。

それは、『私はこのような心のこもった、温かい地区大会を、見たことも、経験したこともなかった。』『本当に今までにないスタイルの素晴らしい大会でした。』と感激されておりました。この思いは、ご参加いただきました、地区内の多くのロータリアンの皆さまにも、共有していただけたと、地区大会実行委員会一同は、大変喜んでおります。まさに、私たち地区役員全員が目指したことを、高く評価いただき、感謝あるのみでございます。

また、同じく、東京の公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の武本泰子女史と志村桂子女史からもコメントをいただきました。それは、『当RI2640地区では米山学友や青少年プログラムが、完全に結実している（実っている）』と感想を述べられた上に、さらに、『力強い倭太鼓や、だんじりの威勢の良い掛け声に感動して、当地区の近未来へ続く道を、見た気がする』と感激されて、コメントされました。とてもありがたいことです。

また、RI会長代理ご夫妻（ポー・エン・ホン）様はじめ、ご参加いただきました、同期のガバナー、パストガバナー、ロータリアンの皆さま、ロータリーファミリーの皆さま、一般参加の地元地域の皆さま方が一体となり、心温まる地区大会となりました。

すべては、皆さまのおかげと、感激いたしまして心から感謝申し上げます。

大会に先立ち、10月20日は、大会記念チャリティーゴルフ大会も行いました。ご参加いただきました皆さまは、本当に楽しいゴルフ大会だったとの、お言葉をいただきました。

さて、本年度地区では、先の4月29日、RI直前会長ロン・バートン氏による地区紛糾の裁定を、本年度RI会長ゲイリー・ホアン氏も認めておられます。

私はそれを尊重し、裁定を踏襲いたします。

すなわち、そこには、“第2640地区が、相違を乗り越えて前向きな解決策を見出せるよう、地区リーダーと地区ロータリアンが協力することを改めてお願いいたします。”

続いて、それには“まずこれまでの紛糾を過去のものと考え始めて、地区を健全な状態に戻し、ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を実現するための、真の奉仕に取り込むことが出来るはずです。”と明記されています。

それでは今、世界が、日本が、グローバル化し、多様性がすすむ中、当地区内でも、当然、考え方、方法論はいろいろでございますが、目指すところはひとつ、地区内の会員皆様が願っております通り、1日も早く、本来のロータリーを取り戻したいと考えます。

- + 本年度は、今までの紛糾を過去のものとして考え始めましょう。
- + 今、情報が飛び乱れて、まるで地区全体が大混乱しているかのようです。しかしそうではなくて、そのような雰囲気、漂っているだけです。一部に、過剰反応があるようです。
- + 私は、すでに50を超えるクラブを訪問させていただきました。
- + 会長様がしっかりと、情報をコントロールされておりますクラブは、着々と楽しく奉仕活動を行いつつ、会員増強に向けて歩んでおられます。
- + 地区ガバナーの承認なき文章等の配布は、認めません。
- + G - 事務所承認なき文章等は、読まないように努めてください。混乱を助長するばかりです。
- + ご周知のとおり、ロータリーの雑誌は、各会員の皆様は購読の義務があります。
“ロータリーの友”などをしっかりと読みいただきたい。いい記事が満載です。
- + クラブ会長は、怪文書等をしっかりと検閲されて、クラブ会員に配布しないよう願います。
- + その逆に、地区ガバナーからの告示等は各クラブ会長が全会員にいきわたるよう、ご配慮お願いいたします。
- + まず、情報はG - 事務所から一つに統一すべきと考えます。
- + 「四つのテスト」(The Four-Way Test)
言行はこれに照らしてから
 - 1) 真実かどうか……………。
 - 2) みんなに公平か……………。
 - 3) 好意と友情を深めるか……………。
 - 4) みんなのためになるかどうか……………。
- + 今、多くのロータリアンは、数年来の混乱の終息を望んでおります。この「四つのテスト」を、励行し、各クラブの本来の活動で汗を流し、奉仕活動を行うことが、終息への最短の道です。
- + パストガバナーには、必要な委員会の中で、お役目をお願いいたしております。

今年始のアメリカのサンディエゴでの、ガバナーになるための国際協議会では、RI役員皆様は、共通して次の事柄を強調され、私は学んで参りました。結局ロータリーは、こうだと思われます。それは、

- * ロータリーは、常に未来を見据えて、リーダーや会員達が、英知を絞り、世界でいいことをして、みんなに豊かな人生を実現する。現時点のみにこだわらないことで、素晴らしい未来が実現できます。



- * 次に、新世代へ「ロータリーの奉仕の精神」をインプットするために、共に行動し、ロータリアンの貴重な、それぞれの『体験』を新世代の若者たちにしっかりと伝えて、それを継承し、その繋がりを大切にすることです。

次に私の経歴の中で

先日公式訪問いたしました、堺のあるRCの会長様は、実は私の大学の先輩でございます。関西のロータリーでは、本当に数少ない卒業生です。

当地区内でも、2〜3名程度と思われます。

- * 余談ですが、東京農大の当時の校風は、自由奔放で、パンカラで、開拓魂豊かな精神が残っております。その校風で私も、在学中は何度も海外へ奉仕に飛び出し、ついに卒業後は、JICAの青年海外協力隊で、マレーシア国にまるまる三ヵ年、飛びました。

協力隊員が、世界の僻地で、本当に田舎の集落に入り込んで、農業や衛生の指導をする、つまり草の根外交の先陣を切っているのが、JICA、青年海外協力隊でございます。

確かに、私が、その国の、その地域に、一人行ったわけでありましたが、しかし、そのJICAの事業や、派遣する人を支える人、又 派遣要請して、協力隊員を迎え入れる国の人々、双方で数え切れないほどの人々に支えられてこそ、素晴らしい成果が得ることが出来て、本当に何事にも変えがたい、貴重な体験が出来たわけでもあります。

お陰さまで、とても言葉では言い尽くせないほどに、一人海外で、青年期に、貴重な体験を積む事が出来ました。

なぜ、私の体験を皆様に披露するかと申せば、皆様のご自身の貴重な「体験」は、機会をわざわざ設定してでも、新世代の若者に、ぜひとも伝えてあげていただきたい。

知らなければ、伝えなければ、何も始まらない……………。

それを、どのように生かすかは、彼ら自身です。

RI会長ゲイリー氏は、中国古来の孔子は私にとって、「元祖ロータリアン」だとのべられました。

JICA 青年海外協力隊は、私にとっては、ロータリーでいうところのまさに、「I serve」の世界なのです。

マンスリーを読まれましたか。そこにはRID2630岐阜RCのPDG服部 芳樹様の『I serve の究極にある職業奉仕』という記事があります。そこには、『職業奉仕の定義』とは、「個々の職業において、理想とする「奉仕の理念」を実践する」こととあります。

『奉仕の理念』（理想）とは、「理想的な奉仕のあり方は、対する人の求めるところをよく察し、そして思いやりの手を差し伸べること」とあります。

この奉仕のあり方は、職業奉仕のあり方そのものでもあります、明記されてあります。

JICA 青年海外協力隊もまさにこれに通じます。

帰国して、それならば、自身は何を成すべきかが、おのずとわかるはずであります。

＋ 自分が変われば、地域社会が変わる、世界が変わる。

＋ 自分の体験は、新世代へと、確実に伝えねばならない。

この二点でございます。

世界が、日本が、グローバル化しつつ、多くの問題を未解決のままに、大きく転換しようとしています。

そこでロータリーは 今、何が出来るのか。

それは、計り知れない可能性に満ちた「新世代の若者達」に、幸多かれとエールを、ただ送るのではなくて、ロータリアンは新世代の若者達と共に、汗を流し、活動できる機会を積極的にふやしていただき、ロータリーを、ロータリーファミリーと共に、みんなで楽しんでいただきたいと願います。

ロータリーの国際交流活動や地域社会での奉仕活動は、世界理解につながると考えられます。

なぜならばロータリーは、世界201カ国に（34,282クラブ）約120万人の会員を有する、グローバルな国際的組織だからであります。ロータリーの活動は、すべて『世界平和』につながります。

海外で活動をする、国内で活動する、いずれにしても、人と人との交流は、常にそこに、お互いの相違はあるものです。

相手を思いやる心、おもてなしの心、が肝心です。

今このような、心が一番大切だということが忘れられて、当地区では、なかなか本来のロータリー活動に、戻れない大きな原因のひとつだと考えられます。

一番必要なことは、この部分の、相互理解のような気がいたします。

私も、ロータリー入会以来、クラブ活動、地区活動を通じて、海外の青少年や姉妹クラブにおける国際交流活動で、又、地域での奉仕活動で、東日本大震災での被災地支援活動で、いずれにおいても、ロータリアンの仲間、ロータリーファミリーや一般の人々と共に、長年にわたり言葉では言い尽くせない、心温まるご支援やご協力を賜りました。

共に活動した皆様のお陰さまで

＊ 米国インディアナ州ハミルトン郡。そこは、インディアナポリス郊外の町カーメル市。カーメル市は、人口20万以下の都市の中で、全米で住みたい町 No. 1の町です。

私は、そこでの奉仕活動が認められ、仲間を代表しまして、カーメル市の『名誉市民』の称号を賜りました。大変、名誉なことと、感謝いたしております。

日本の「思いやりの心」や「おもてなし文化」の一つ象徴であります。

さらに本年度、RI2640地区に関しましても、ほとんど無条件にて、多くのクラブメンバーの方々には地区運営の要として、ご協力賜っております。

全てに、感謝!! 感謝!! でございます。

皆様の絶大なるご協力を、引き続きお願い申し上げます。

This is Rotary !! This is Rotary !!

～会長・幹事との懇談会での質問に対する回答～

1 選挙人会議においての決議・・・

当然、選挙人会議で決まった事は地区融和の観点から、粛々と進めていきたい。

2 地区大会において、アメリカ・インド・マレーシア

からロータリアンが来られているが経費は・・・
来日いただいている、アメリカ、インド、マレーシアの三カ国ロータリアンは河内長野RCの姉妹提携クラブの方々と、私がガバナーに就任したので、お祝いに駆けつけてくれた。渡航費用は彼ら自身の自己負担で来日している。地区資金は一切使っていません。

3 地区大会会場において救急車の展示が・・・

地区資金で購入した物ではない。

ある市長から耐用年数の過ぎた廃棄される救急車をガバナーとして個人的に無償でいただいた物です。

今回、マレーシアRCより、地域の自営団より要望があり古い救急車が必要とのことで、それに応えるべく準備をした。日本より送る際、船便費用に10万程かかるが、其の費用はインターアクトの活動なり、所属クラブ、もしくは手をあげていただくクラブにお願い出来ればと思います。

4 パストガバナー米田・・・

個人的な問題でありますので、ガバナーとして個人的な問題には触れないと言う姿勢です。

5 大会1日目の登録不備について・・・

大変反省をしています。予算の無い中でパートを入れ、少ないスタッフで準備をしまいいりました。経験の無い中で事務処理を行っていたため大変な不手際を起こしてしまいました。

お詫びを申し上げます。

あってはならない事ですが、どうぞ、ロータリアンの寛容の精神で持ってお許しいただければ幸いです。

6 大会2日目の食事の件・・・

予算の無い地区大会で皆様に満足の頂ける形式は無いかと思案してまいりました。その中でピュッフェスタイルが良いのではとのことで、この形をとりました。地域の方々も巻き込んで、たこ焼きのサービスや販売をしまいいりました。おかげさまですべてが完売となり、あまることなく、終了いたしました。しっかりと準備をしたつもりではありますが、皆様に行きわたらなかった事、お詫び申し上げます。